

World Vision

ワールド・ビジョンニュース

World Vision

この子を救う。未来を救う。

No.180

2014冬号

News

特集

「マイワールド・ビジョン」が
新しくなりました！

「庭を耕すのが好きなの」と
微笑む女の子(ウガンダ)

昨年の秋にスタートしたオンライン・サービス、「マイ ワールド・ビジョン」が2014年10月2日、“チャイルドとの距離が近づく、あなた専用サイト”として新しくなりました。カンボジアの女の子、ロエヴちゃんのチャイルド・スポンサーである女優の松本莉緒^{まつもとりお}さんに、新しくなった「マイ ワールド・ビジョン」を実際に使っていただきました。

Point 1

チャイルドの写真が見られます[※]

※現地事務所の状況などにより、写真の更新が遅れる場合があります。
また、ベトナムとラオスのチャイルドは、それぞれの国の法律などの理由から、写真を掲載することができません。何卒ご了承ください。



「ロエヴちゃんのお顔が見えた！嬉しい！
この間送られてきた成長報告の写真も見られるようになってるんですね」



Point 2

地域の様子が分かります

チャイルドが住む地域の時刻や天気、気温も見られます。莉緒さんのチャイルド、ロエヴちゃんが暮らすカンボジアは…？



Point 3

簡単にお手紙が書けます

ホームページで手紙を書き、送ることができる「Eレター」。ログインしていれば、チャイルド番号や名前、ご自身のパートナー番号もEレターに自動で入ります。

「これまでレターセットをもらって、ポストに出しに行っていたのですが、このシステムで私の気持ちがより早くロエヴちゃんに伝わるのは嬉しいです」

「簡単に使えるので、どんどんEレターを書いてしまいそうです。簡単で手軽、まさに私が欲しかったシステムです！季節ごとに絵が変わるのも良いですね」

早速、Eレターを書いていただきました

Eレターの冬の絵柄



が新しくなりました!

Question

実際にマイワールド・ビジョンを使ってみていかがでしたか?



「便利!!ロエヴちゃんが、より身近に感じられて素敵なシステムだと思います。

ロエヴちゃんが暮らしている場所の気温や時間が分かるだけで、『朝から暑いんだなあ』とか、ロエヴちゃんの生活を色々想像してしまいますね」



松本莉緒さん、お忙しい中ありがとうございました。

皆さまもぜひ、新しくなったマイワールド・ビジョンをご利用ください!

松本莉緒さんプロフィール

女優・モデル。11歳でスカウトされ、今年で芸能生活20周年。「エースをねらえ!」「モテキ」などのドラマやCMに多数出演。「周りの方からいただいた愛情や喜びを、世界の子どもたちに届けたい」との想いから、2012年よりチャイルド・スポンサーに

●こんなこともできます

1 事務手続き:住所やメールアドレスなど登録情報の確認・変更、送金履歴の照会、送金方法の変更などの手続きができます。

2 支援の申込み:国や性別、誕生日などのプロフィールからチャイルドを検索して、チャイルド・スポンサーシップにお申込みいただけます。

●「マイワールド・ビジョン」へのアクセス方法

ホームページのトップ画面に「マイワールド・ビジョン」の入口があります。赤い丸印のどちらかのボタンをクリックしてください。

●ログイン

すでにアカウントをお持ちの方は、「ログイン」ボタンを押してください。

●アカウント作成

まだアカウントをお持ちでない方は、「アカウント作成」ボタンを押してください。アカウントを作成いただくと、入力いただいた情報とすでに登録の情報を照合のうえ、チャイルドの情報などが見られるよう手続きをします。手続き完了後、メールでアカウント登録完了のお知らせを送ります(アカウント作成から、数日お時間をいただく場合があります)。

※パートナー番号を入力いただくと、照合がよりスムーズになります。パートナー番号は宛名に印字されている9桁の番号です。



ワールド・ビジョン・フェス2014 (WVフェス)で、マイワールド・ビジョンを体験してみよう!

昨年初開催して大盛況だった交流イベント、WVフェスで、「マイワールド・ビジョン体験コーナー」を設けます。今年の開催日は12月6日(土)。スタッフが直接アカウント作成をお手伝いします。ぜひご参加ください。詳細はホームページへ。

WVフェス2014

検索





「予防接種を受けよう」と訴えながら村内を回る子どもクラブのメンバー

カンボジア

ポニャー・ルウ地域開発プログラム(ADP) (支援期間 2008年10月～2020年9月)

1970～80年代にかけて内戦を経験したカンボジア。当時、集会や結社、表現の自由が著しく制限されていました。そのため、今でも住民が集まって地域の課題を話し合ったり、課題解決のために地域のリーダーや政府関係者に理解を求めたり、訴えたりすることへの恐怖心や抵抗感が、人々の間に根強く残っています。

人々のそのような意識を変えることは大きな挑戦ですが、ADPでは、地域住民の主体性を尊重しつつ、互いに信頼し協力して、子どもたちの健やかな成長を支える地域づくりに取り組んでいます。子どもたちを活動の中心に据え、子どもたち自身が積極的に発言し、地域の課題解決に取り組む機会や場をつくることに力を入れています。

例えば、日本の小学生にあたる世代の子どもたちからなる

「子どもクラブ」のメンバーが定期的に村内を巡回し、“公共の場所にごみを捨てないようにしよう”“予防接種を受けよう”というメッセージを訴える活動があります。また、同クラブは、家庭内暴力防止をテーマにした演劇を創作・上演するなど、子どもたちが家庭でも地域でも平和な生活を送る権利があることを発信しています。

日本の中高生にあたる世代の子どもたちは「ユース・クラブ」を組織し、子どもクラブの活動を支えたり、貧しいため地域の外へ働きに出かける親に代わって、小さい子どもたちの勉強や遊びのサポートをしています。

ADPの活動が終了する頃には、この子どもたちが次世代のリーダーとして地域づくりを担ってくれるでしょう。



子どもクラブのメンバーによる迫真の演技！家庭内暴力の防止を訴えます



子どもクラブとユース・クラブのメンバー

ツアー報告 エクアドル

ブンガラADP(支援期間 2007年～2023年)

コルタADP (支援期間 2010年～2026年)

2014年8月23日(土)～31日(日)、17人のチャイルド・スポンサーがエクアドルの2つの支援地域を訪問し、子どもたちや地域の人々と交流の時を持ちました。



「小さな種の提供しかできませんが、それがいつかは大きな花となって花開くのを実感できます」(須賀さん)

参加者のコメント



「目を輝かせている子どもたちと村の人々がこんなに喜んでくださっていることがあらためて嬉しく、お役に立っている部分があるのだと感じました」(田代さん)



「チャイルドと会い、嬉しくて涙が止まりませんでした。一緒にサッカーをした時の笑顔が忘れられません」(北澤さん)



「喜びと感動で涙があふれてきました。どんなに貧しくても、どこで生きていても、みんな自分たちの誇りを持ち、しっかり生きていることを実感しました」(中島さん)



アンデス山脈の中腹に位置し、しばらく歩くと息が上がるほどの高地でしたが、チャイルドたちと楽しい交流の時を過ごしました(ブンガラADP)



小学校できちんと学び生活できるよう、3～6歳の子どもたちに就学前教育を行っています。母親に向けても、子どもとの接し方の研修などを行っています(コルタADP)



服飾雑貨を製作販売し、現金収入を得る活動をしている女性グループを訪問。支援への感謝として、訪問したスポンサーに小物入れをプレゼントしてくれました(ブンガラADP)

ツアー報告はホームページにも掲載しています。

ワールドビジョン ツアー

検索

スライドショーなどもありますので、ぜひご覧ください。

ミャンマー カチン州 国内避難民キャンプでの食糧配布事業

WVは国連世界食糧計画(WFP)と協働で、ミャンマーのカチン州にある国内避難民(IDP)キャンプで食糧配布事業を実施しています。

カチン州では2011年以降、ミャンマー政府と反政府勢力との紛争が激しくなり、子どもを含む約10万人もの人々が、住んでいた村を追われIDPキャンプなどに身を寄せています。

WVはカチン州のウェインモー、カンパイティ、チップウエの3地域にあるIDPキャンプで、食糧を配布しています。IDPキャンプは教会が提供している土地や僧院の敷地内などにあり、竹や木でできた高床式の住居が並んでいます。



キャンプの中にある幼稚園に通う子どもたち



竹や木でできた高床式住居

月1回行われる食糧配布では、米や豆、塩や食用油が配布されます。家族の人数に合わせて配給量が決められているため、配布日になるとキャンプの住民は家族の情報(人数、2歳以下の子どもや妊産婦の有無など)が書かれた「配給カード」を持って配布所の前に列を作ります。食糧



配給カード

は、計量カップや缶を使って住民の目の前で計量され、公平に配布されるため、食糧をめぐる争いは起こりません。

また2歳以下の子ども、妊婦、授乳中の母親、60歳以上の高齢者がいる世帯には栄養価が高い食糧が届けられますが、野菜や肉、魚などの生鮮食品は住民たち自身で町のマーケットなどに行って購入しなければなりません。そのため、大人たちは町で日雇いの仕事などをしてわずかな現金収入を得ています。現在も紛争の収束は見え、住民たちが村に帰れる目途は立っていません。

ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)は2015年度(2014年10月～2015年9月)も、引き続きこの事業をサポートする予定です。



食糧支援を受けている親子

皆さまからのクリスマス募金により、この子どもたちに支援が届けられます。ミャンマーなどのアジア諸国、ソマリアなどのアフリカ諸国で、食糧・水の不足に苦しむ子どもたちのために、クリスマス募金にご協力ください。

ホームページにて募金を受付けています。

ワールド・ビジョン クリスマス募金

検索

※募金は、寄付金控除の対象となります

NTT DATA 株式会社NTTデータ

株式会社NTTデータは、システム開発やデータ通信サービスを提供するシステムインテグレーション事業、コンピュータネットワークを基盤とした決済系ビジネスやセキュリティなどのサービスを提供するネットワークシステムサービス事業、システムコンサルティング、サポート事業などを行う、日本の企業です。

2007年より、チャイルド・スポンサーシップを通してご支援いただいています。このご支援金は、毎年クリスマスの時期に、社員の皆さまが開催する募金活動によって集められています。また、P8の「命の木プロジェクト」では、Twitterからの参加者数の分析など、IT企業としての独自の専門技術を生かしたご協力をいただきました。



本社ビル (東京)

【社員研修でベトナムを訪問】

2014年7月、2人のチャイルド・スポンサーとしてご支援くださっているベトナムのチャンエンADPを社員研修の一環で訪問し、IT技術の紹介などを通して、現地の子どもたちと交流されました。

参加された社員の皆さまからの感想

●現地の人と交流して、日本では薄れてしまっている人と人との交流や助け合いの大切さを学び、社会の発展だけがすべてではないと改めて感じました。

●夢を持つことの大事さを改めて感じました。また、環境などに左右されず、自分の努力を通じて自分の価値を実現したいと思います。

●まだまだ人々の生活を便利にするためにしなければならないことがたくさんあるのだと思いました。こういった現状をみて、自分が海外で働くときに、具体的に何をすべきか、何がしたいか等について考えさせられたので、日本に帰ってもその気持ちをとっておこうと思います。



訪れた小学校で、たくさんの子どもたちと交流しました



NTTデータの活動やその技術を紹介しました

命の木プロジェクト 36,384件のアクション、ありがとうございました

世界の子どもたちに、まず5才までの命を。

年間660万人の子どもたちが5歳未満で命を落としている現状を多くの方に知っていただき、行動を起こしていただくことを目指して実施した「命の木プロジェクト」。6月2日～7月31日の期間中、「子どもたちの命を救いたい」という気持ちを表した絵や写真などの「アクション」を募集し、目標を上回る36,384件のアクションが集まりました。今年、ホームページやSNSを通じたアクションに加え、イベントを通じて、多くの方に参加していただきました。皆さまの声を日本政府の政策に反映してもらうため、国連総会前の9月、外務省国際保健政策室の山谷裕幸室長と、ニューヨークの国連日本政府代表部の南博大使をそれぞれ訪問し、アクション提出と政策提言を行いました。世界の政策の中心課題に子どもを据えるよう訴え、子どもの命が優先される世界の実現に向け、一歩前進することができました。



ニューヨークの国連日本政府代表部の南博大使(中央)に、アクションと政策提言書を届けました



「アクション」の一つとして募集した「世界の子どもカルタ」。お寄せいただいた応募作品で完成したカルタが、キヤノン株式会社様のご協力によりダウンロードできるようになりました！ [ワールドビジョン カルタ](#) [検索](#)

グローバル教育

グローバルフェスタ JAPAN2014 出展報告

10月4～5日に日比谷公園で行われた「グローバルフェスタ JAPAN2014」に出展しました。日本最大級の国際協力イベントであるこのイベントでは、293団体が参加し、ブース展示のほかにも世界各国の料理を楽しむなど様々な催しが行われました。WVJのブースには、NGOに就職を希望する学生の方やご支援者などたくさんの方がお越しください、

スタッフが支援地域の様子を伝えたり、来場者の方々からの質問に答えました。残念ながら2日目は台風の影響を受け正午までの開催となりましたが、イベント全体では2日間で7万人以上が来場し、前年を大幅に上回る盛況ぶりでした。ご来場くださった皆さま、ありがとうございました。



来場者の方々に支援地域の様子を説明する松岡スタッフ(オレンジのTシャツ)



天気に恵まれた初日は、大勢の来場者でにぎわいました

尾鷲さんは、1993年にチャイルド・スポンサーシップを始められ、現在はマラウイの女の子のチャイルド・スポンサーとして、支援を続けてくださっています。

Q 21年間、チャイルド・スポンサーを継続された想いを教えてください。

A 支援開始直後は「この団体大丈夫かな？」という不安はありました。しかし、ホームステイで来ていたオーストラリア人留学生から「地元の学校の先生もスポンサーだよ」と聞き、その後に来たカナダ人留学生からも「お父さんがカナダでスポンサーをしているよ」と言われ、安心しました。2008年にミャンマーがサイクロンに襲われましたが、他団体がミャンマー政府から支援許可をもらえない中、WVはそれまでの活動実績からいち早く支援を届けられたということを知り、それからは不安なく支援しています。

Q 2012年に参加されたマラウイツアーはいかがでしたか。

A 20年支援しようと決めてそのために仕事をし、支援20周年記念として夫婦でツアーに参加しました。チャイルドに会い、「生まれた環境が違うだけでこんなに生活が変わるのか」と支援の大切さを感じました。「日本の普通は世界の普通ではない」と、日々孫たちにも伝えていきます。これからは支援を継続したいと思い、介護ヘルパーの免許をとって再就職したところです。



尾鷲明美さん(右)とご主人の和義さん

ツアーのご案内

チャイルド・スポンサーの「地球あちこち〜ルワンダを知る旅」

なだらかな丘が続く美しい地形をもち、「千の丘の国」と呼ばれるルワンダは、アフリカ大陸中部に位置しています。内戦やジェノサイド(大量虐殺)という過酷な歴史を経て、国を挙げて平和再構築と国の再建に取り組んでいます。

ルワンダの支援地域を巡るツアーに、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。ご関心のある方は、以下のお問合せ先から資料をご請求ください(資料はツアーの詳細が確定し次第、お送りします)。

訪問先：キラムルジADP (RWA-187343)、グウィザADP (RWA-190768)

期間：2015年3月21日(土)～3月29日(日)

参加費：調整中

参加人数：20人(最低催行人数14人)

※1 詳細が決まり次第、ホームページ、Enewsなどでお知らせします

※2 参加は、チャイルド・スポンサーの方に限らせていただきます。ルワンダのスポンサーの方を優先しますが、それ以外の地域のスポンサーの方もご応募いただけます

※3 訪問国の治安状況などにより、ツアーを中止させていただく場合があります。ご了承ください



ルワンダの子どもたち

ツアーに関するお問合せ： TEL：03-5334-5351 Eメール：dservice@worldvision.or.jp

(メールにて資料請求の場合は「ルワンダ訪問ツアー希望」とお書きください)

■中村スタッフのお仕事

中村スタッフが担当するアドボカシーとは、一人ひとりが社会の問題について知り、その原因について声をあげ、解決のためにできることを訴えていくことです。この働きにより、政策を変え、不正な社会を変えていくことを目指します。WVJでは、子どもの権利(特に、子どもの保護や人身取引)を守るための活動を行っています。P8の「命の木プロジェクト」の企画・運営も担当していました。



プロフィール

2008年、国際基督教大学国際関係学科卒業後、株式会社リクルートに入社。その後、コスタリカの国連平和大学院(国際公法・人権専門)を修了し、UNICEFミャンマーにて子どもの保護のインターンを経験。2013年10月より現職

7:00起床。シャワーを浴びて、たまごご飯と納豆を食べて元気を出します



9:00出勤。夜の間に来た海外からのメールをチェック

8:00通勤電車で揺られながら、外交に関する本を読んで勉強

10:00午後の外務省訪問に向け、関係者と打ち合わせ。進め方や役割分担の最終確認をします



12:00ランチは、事務所で弁当を食べるか、外食をすることが多いです。今日は事務所近くの中華料理屋でスタミナ丼を食べ気合を入れます

13:00アドボカシーキャンペーンの制作物について、協力企業へ電話連絡。詳細を打ち合わせます

14:00海外のWVから送られてくる、子どもの保護に関連した最新レポートに目を通します

15:00海外のWVスタッフとスカイプ会議。アジアの人身取引に関する状況について情報交換を行います



16:00事務所を出発し、霞ヶ関へ。一緒に提言を行う高校生たちと合流し、外務省へ向かいます



17:00外務省到着。アドボカシーキャンペーン「命の木プロジェクト」の提言や集まったアクションを提出。高校生からも意見を伝えてもらいます

18:00事務所へ戻り、訪問に関する報告書を作成して、一日の仕事が終了

20:00帰宅。妻と一緒に夕食。共働きのため、家事は曜日で分担しています



0:00就寝。
明日もがんばるぞー、
良い夢を

19:00疲れている時は、ランニングやジムで体を動かします。この日は同僚のランニング仲間と皇居ラン2周(10km)!



21:00夫婦で映画鑑賞。最近は海外の連続テレビドラマにはまっています

インフォメーション

■WVカフェのご案内(2014年12月～2015年2月)

ご家族ご友人をお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。参加ご希望の方は事前にホームページ、Eメール、またはお電話にてお申込みください(締切は開催日の3日前までです)。

TEL: 03-5334-5351

FAX: 03-5334-5359

Eメール: dservice@worldvision.or.jp



愛知

日時: 12月13日(土)14:00～16:00

場所: 日本特殊陶業市民会館 第1会議室
名古屋市中区金山1-5-1

TEL: 052-331-2141

大阪

日時: 12月14日(日)14:00～16:30

場所: 新大阪丸ビル別館 3階3-5号室
大阪市東淀川区東中島1-18-22 丸ビル別館

TEL: 06-6325-1302

福岡

日時: 1月24日(土)14:00～16:30

場所: リファレンス大博多貸会議室 セミナールーム1107
福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル11階

TEL: 092-432-0058

熊本

日時: 1月25日(日)14:00～16:30

場所: くまもと県民交流館パレア 9階 会議室2
熊本市中央区手取本町8-9 テトリアくまもとビル9階

TEL: 096-355-4300

徳島

日時: 2月13日(金)18:30～20:30

場所: シビックセンター 4階 活動室4
徳島市元町1-24

TEL: 088-626-0408

香川

日時: 2月14日(土)14:00～16:30

場所: サンポートホール高松 5階 51会議室
高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー・ホール棟

TEL: 087-825-5000

愛媛

日時: 2月15日(日)14:00～16:30

場所: ひめぎんホール 本館2階 第1会議室
松山市道後町2-5-1

TEL: 089-923-5111

■寄付金控除等のための領収書発行のご案内

当団体は、国税庁より「認定NPO法人」として認定を受けており、皆さまからの支援金は寄付金控除(所得控除)または寄付金特別控除(税額控除)の対象となります。

●「個人」および「12月決算、もしくは決算月のご指定のない法人・団体」の皆さまへ2015年1月20日(火)頃に領収証を発送いたします。2014年1月1日～12月31日までに当団体が領収した支援金が対象となります

●寄付金控除または寄付金特別控除を受けるためには、所轄税務署にて確定申告を行ってください

※寄付金控除等の制度や確定申告に関しては、お近くの税務署にお問い合わせください

●住所変更のご連絡はお早めをお願いします。領収証は、2014年12月23日(火)時点でWVJにご登録のある住所にお送りします。住所変更をご希望の方は、お早めにコンタクトセンター(TEL: 03-5334-5351)までご連絡ください

■年末年始休業のお知らせ

誠に勝手ながら、2014年12月27日(土)～2015年1月4日(日)の期間を、年末年始休業とさせていただきます。この期間中および2014年12月26日(金)午後以降にいただいたご連絡・お問合せにつきましては、2015年1月5日(月)より順次対応させていただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

去る10月、日比谷公園で行われたグローバルフェスタに参加しました。これは国際協力への理解を深めるためのイベントで、2日間で7万人以上が来場しました。

今年は、日本政府が「政府開発援助(ODA)」と呼ばれる開発途上国への援助を開始してから、60年の節目。かつて世界最大の援助国だった日本の援助額は、ここ数年下がり続け、新たな援助の在り方が求められています。一方、私たち市民はこの間、国際協力への理解と支援を深められたでしょうか。国際協力を政府に任せるだけでなく、私たちの手でできることをするという意識と気概を深め、それを広げる必要性と可能性を感じたイベントでした。(事務局長)



クリスマスまでに3000人の子どもを救いたい 「いっしょに幸せになろう」キャンペーンにご協力ください



世界には、今この瞬間も、十分な食事、安全な飲み水、教育の機会が得られない多くの子どもたちがいます。あなたのご協力によって、より多くの子どもたちが、栄養ある食事をとり、安全な水を得ることができるようになります。

WVJでは、11月1日(土)~12月26日(金)まで、3000人の子どもたちのチャイルド・スポンサーを募集する、「いっしょに幸せになろう」キャンペーンを実施します。ぜひ、キャンペーンにご協力ください。

●オリジナルカレンダーをプレゼント!

キャンペーン期間中、下記の方にWVJオリジナルカレンダーをプレゼントします。

- スポンサーになってくださった方
- チャイルドの支援人数を追加してくださった方
- ご友人にチャイルド・スポンサーシップをご紹介してくださった方



●ご友人にお渡しできる資料をご用意しています!

ご友人にチャイルド・スポンサーシップをご紹介していただけるパンフレットやDVDをご用意しました。お電話、またはホームページからご請求ください。



ミニカード
(名刺サイズ)



冊子とDVDのセット



ミニフライヤー
(ハガキサイズ)

●SNSやブログで応援してください!



FacebookやTwitter、ブログでこのキャンペーンやご自身のチャイルド・スポンサーシップの体験について書いたり、WVJの投稿に「いいね」やシェアしてください。周りの方々が途上国の子どもたちのことを知るきっかけとなります。



チャイルド・スポンサーを募集しています! お申込みは今すぐ

電話: ☎0120-465-009

(お申込み、パンフレットのご請求にお使いください)

(24時間受付)

ファックス: 03-5334-5359

(右記の□にチェック(✓)をしてお送りください)

<http://www.worldvision.jp/>

(お申込みやパンフレットのご請求ができます)

- チャイルド・スポンサーシップに申込み
- チャイルド・スポンサーシップのチャイルドを追加する

お申込みの方

支援希望地域: アフリカ アジア 中南米
任せます

送金方法: クレジットカードの毎月利用
(VISA, MASTER, SAISON, JCB, AMEXがご利用いただけます)
金融機関口座から毎月の引き落とし

名前(フリガナ)

パートナー番号(お分かりの方はご記入ください)

住所

電話番号

Eメール

MC12348

2014年11月発行

お問い合わせは コンタクトセンターへご連絡ください。

■コンタクトセンター(支援者窓口)

TEL:03-5334-5351

FAX:03-5334-5359

(平日9:30~19:00)

dservice@worldvision.or.jp

ワールド・ビジョン(1950年設立)は、キリスト教精神に基づいて開発援助、緊急人道支援、アドボカシーを行う国際NGOです。

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

理事長●榎原 寛 発行責任者●片山 信彦

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL:03-5334-5350(代) FAX:03-5334-5359

ホームページ: <http://www.worldvision.jp/>

